

平成25年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月10日

上場会社名 株式会社 高見澤
 コード番号 5283 URL <http://www.kk-takamisawa.co.jp/>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高見澤 秀茂

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 大井 文成

TEL 026-228-0111

四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第3四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第3四半期	35,818	1.7	617	△12.6	668	△3.0	376	2.2
24年6月期第3四半期	35,222	13.9	706	33.0	689	30.1	368	△7.0

(注) 包括利益 25年6月期第3四半期 519百万円 (6.9%) 24年6月期第3四半期 486百万円 (53.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第3四半期	43.82	—
24年6月期第3四半期	42.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第3四半期	28,640		6,739			21.8
24年6月期	25,855		6,250			22.5

(参考) 自己資本 25年6月期第3四半期 6,250百万円 24年6月期 5,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年6月期	—	0.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,600	△2.8	540	△29.6	570	△22.3	280	△24.2	32.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 烟台市長野建材有限公司、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年6月期3Q	8,792,000 株	24年6月期	8,792,000 株
25年6月期3Q	250,708 株	24年6月期	169,909 株
25年6月期3Q	8,589,337 株	24年6月期3Q	8,622,239 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速に加え、領土問題による日中関係の悪化により、長く停滞した経済環境が続くなか、政策主導による円高是正や大型財政出動への期待から輸出や消費に持ち直しの動きが見られたものの、依然として欧州の債務危機や、中国をはじめとする新興国の経済成長鈍化と先行き楽観はできない状況にあります。

当社グループの主体である建設業界におきましても、公共投資拡大期待は有るものの、実需の動きは鈍く、低調な状況が続いております。

一方、海外事業を展開している中国経済は、政府による景気下支えのための金融緩和の拡大を受け、着工する工事が増えております。当社が生コン製造販売事業を展開している山東省でも、同様な動きですが、マンション在庫が増えており、生コンの販売条件は厳しくなっております。そのため選別受注を行っており、受注量は減少しております。なお、PM2.5による大気汚染、鳥インフルエンザの影響はありません。

このような経済環境のなかにあつて、当社グループは、取引先拡大による営業活動強化と一層の経費削減により、収益確保に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の実績につきましては、売上高35,818百万円（前年同四半期比1.7%増）、営業利益617百万円（前年同四半期比12.6%減）、経常利益668百万円（前年同四半期比3.0%減）、四半期純利益376百万円（前年同四半期比2.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 建設関連事業

国内の建設関連事業では、新潟県上越地方の生コン出荷及び長野県内の建設商材出荷は堅調に推移しましたが、前年度のような大型完成工事が少なく減収減益となりました。中国市場においては、建設需要の動きは始まりましたが、生コン販売は厳しく減収減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,249百万円（前年同四半期比14.2%減）、営業利益は335百万円（前年同四半期比31.2%減）となりました。

② 電設資材事業

電設資材事業では、太陽光発電設備やLED照明等省エネ関連商材の需要に支えられ堅調に推移し増収増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は17,323百万円（前年同四半期7.9%増）、営業利益は253百万円（前年同四半期比85.0%増）となりました。

③ カーライフ関連事業

石油部門では、原油価格が高値で推移し、厳冬で特に暖房用燃料の価格が高騰したことで、増収となりましたが、仕入コストを転嫁できずに減益となりました。オート部門では、車検の入庫促進と車両販売の強化で、前年並みの売上となりましたが、利益率の低下で減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,620百万円（前年同四半期比5.9%増）、営業利益は68百万円（前年同四半期比36.2%減）となりました。

④ 住宅・生活関連事業

主な事業として、不動産部門では、分譲・建売物件の売買取引が減少し減収となったものの、仕入原価を抑えることができ増益となりました。農産物部門では、果実類の取扱量が増加したことと、きのこ培地の販売が順調に推移し増収増益となりました。新規事業のチーズ加工販売部門では、取引先増加により増収となりましたが、価格競争激化と生産量増加に伴う固定費を吸収出来ず、わずかな増益にとどまりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,624百万円（前年同四半期比10.0%増）、営業利益は34百万円（前年同四半期比13.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第 3 四半期連結会計期間末における流動資産は15,421百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,218百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が163百万円、受取手形及び売掛金が1,769百万円、たな卸資産が172百万円増加したことによるものであります。固定資産は13,219百万円となり、前連結会計年度末に比べ566百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が342百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、28,640百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,785百万円増加いたしました。

(負債)

当第 3 四半期連結会計期間末における流動負債は15,274百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,267百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1,239百万円、短期借入金が849百万円増加したことによるものであります。固定負債は6,627百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が87百万円増加し、社債が50百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、21,901百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,296百万円増加いたしました。

(純資産)

当第 3 四半期連結会計期間末における純資産合計は6,739百万円となり、前連結会計年度末に比べ488百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益376百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は21.8%（前連結会計年度末は22.5%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年 8 月10日の「平成24年 6 月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第 2 四半期連結会計期間において、烟台市長野建材有限公司を新たに設立し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第 1 四半期連結会計期間より、平成24年 7 月 1 日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第 3 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,868	2,031
受取手形及び売掛金	8,898	10,668
商品及び製品	1,491	1,541
仕掛品	164	290
原材料及び貯蔵品	219	215
繰延税金資産	221	170
その他	432	596
貸倒引当金	△93	△92
流動資産合計	13,203	15,421
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,814	7,895
減価償却累計額	△5,084	△5,223
建物及び構築物（純額）	2,730	2,672
機械装置及び運搬具	4,591	4,991
減価償却累計額	△3,597	△3,703
機械装置及び運搬具（純額）	994	1,287
土地	6,192	6,287
リース資産	458	349
減価償却累計額	△299	△231
リース資産（純額）	159	118
建設仮勘定	698	744
その他	1,579	1,622
減価償却累計額	△1,349	△1,384
その他（純額）	229	237
有形固定資産合計	11,005	11,348
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	257	348
繰延税金資産	193	169
その他	1,668	1,748
貸倒引当金	△671	△671
投資その他の資産合計	1,448	1,593
固定資産合計	12,652	13,219
資産合計	25,855	28,640

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,814	6,054
短期借入金	6,687	7,537
リース債務	84	58
未払法人税等	129	131
賞与引当金	215	198
その他	1,075	1,294
流動負債合計	13,007	15,274
固定負債		
社債	50	—
長期借入金	4,325	4,413
リース債務	94	76
再評価に係る繰延税金負債	452	452
退職給付引当金	1,191	1,186
役員退職慰労引当金	176	194
環境対策引当金	156	150
資産除去債務	59	60
その他	90	92
固定負債合計	6,597	6,627
負債合計	19,604	21,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,264	1,264
利益剰余金	4,490	4,841
自己株式	△32	△45
株主資本合計	5,723	6,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	69
土地再評価差額金	50	50
為替換算調整勘定	22	70
その他の包括利益累計額合計	98	190
少数株主持分	429	488
純資産合計	6,250	6,739
負債純資産合計	25,855	28,640

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 7 月 1 日 至 平成24年 3 月 31 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 7 月 1 日 至 平成25年 3 月 31 日)
売上高	35,222	35,818
売上原価	30,494	31,053
売上総利益	4,728	4,765
販売費及び一般管理費	4,022	4,148
営業利益	706	617
営業外収益		
受取利息	8	7
持分法による投資利益	41	41
為替差益	10	41
仕入割引	90	93
不動産賃貸収入	43	43
その他	34	50
営業外収益合計	227	277
営業外費用		
支払利息	182	168
その他	62	57
営業外費用合計	244	226
経常利益	689	668
特別利益		
固定資産売却益	2	2
投資有価証券売却益	2	—
投資有価証券評価損戻入益	9	40
その他	0	—
特別利益合計	13	42
特別損失		
固定資産売却損	46	2
固定資産除却損	0	3
環境対策引当金繰入額	—	15
固定資産圧縮損	—	0
特別損失合計	47	21
税金等調整前四半期純利益	655	689
法人税、住民税及び事業税	178	205
法人税等調整額	47	71
法人税等合計	226	277
少数株主損益調整前四半期純利益	429	412
少数株主利益	60	35
四半期純利益	368	376

(四半期連結包括利益計算書)
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 7 月 1 日 至 平成24年 3 月 31 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 7 月 1 日 至 平成25年 3 月 31 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	429	412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	43
土地再評価差額金	102	—
為替換算調整勘定	△35	58
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	5
その他の包括利益合計	56	107
四半期包括利益	486	519
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	436	468
少数株主に係る四半期包括利益	49	51

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 7 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設関連	電設資材	カーライフ 関連	住宅・生活 関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,619	16,056	6,251	3,295	35,222	—	35,222
セグメント間の内部 売上高又は振替高	113	19	252	53	438	△438	—
計	9,733	16,076	6,503	3,348	35,661	△438	35,222
セグメント利益	487	136	107	39	771	△65	706

(注) 1. セグメント利益の調整額△65百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 7 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設関連	電設資材	カーライフ 関連	住宅・生活 関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,249	17,323	6,620	3,624	35,818	—	35,818
セグメント間の内部 売上高又は振替高	118	34	241	47	441	△441	—
計	8,368	17,357	6,861	3,671	36,259	△441	35,818
セグメント利益	335	253	68	34	691	△74	617

(注) 1. セグメント利益の調整額△74百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。